

創業支援室
活用事例羽州人
ヒーリングカンパニー
合同会社

優秀な社員を
『介護』で失わないために
今企業でできること



介護離職は企業にとっての
大きな人的損失。
介護休暇は「介護体制」を
整えるための準備期間と
捉えています

介護をきっかけにした離職を減らすサポートを

介護・福祉の世界で30年ほどキャリアを積んできた須田裕人さん。令和2年に「羽州人ヒーリングカンパニー合同会社」を設立し、現在は活性化センターが提供する創業支援室に事務所を構え、これまで取り組んできたケアマネジメント業務と並行しながら、介護離職や介護と仕事の両立支援という課題解決に向けた事業の準備を進めている。

須田さん自身、父の介護に直面した際、上司にそのことを相談できず、離職した経験を持ち、また同じような境遇で仕事を辞める人が多いことも感じていた。

令和7年4月に介護と仕事の両立支援を目的に厚生労働省によって「育児・介護休業法」が施行され、以前よりも制度の対象範囲や代替措置が広がっただけでなく、就業規則などに規定がなくても、労働者が申請すれば利用できる「介護休業制度」や「介護休暇制度」などが増えた。須田さんはこの法律を周知し、介護と仕事の両立を促す風土づくりを目指したいと語る。

新たな事業のPRによろず支援を活用

多くの企業にとって40代、50代の社員による介護を理由とした離職は大きな損失となる。須田さんは、介護に迫られた社員に対しサポート制度を整えたいと考える企業への伴走支援をすることで、社員が介護の問題を1人で抱え込まなくなるだけでなく、企業全体のビジネスケアラーに対する意識が高まるのではないかと考える。現在は秋田県よろず支援拠点の支援を受けながら、企業に対するアプローチの手段としてセミナーの開催のほか、PRのためのリーフレットやWebサイトの作成を進めている。

「研修講師としてセミナーを開催するというのは、自分にとって初の試み。助言をいただいたことで自分の中にある新たな可能性に気付くことができました。介護に関わる働き方の問題は企業の中だけで解決するのが難しいと思います。私のような外部の人間が支援し、解決のお手伝いをしていきたい」と語る須田さん。企業と社員を支え、地域社会に貢献していきたいという熱い思いを教えてくれた。



うしゅうじん
羽州人ヒーリングカンパニー
合同会社

代表社員
すだ ひろと
須田 裕人

〒010-8572
秋田市山王3丁目1-1 3階
創業支援室A-9
TEL:018-838-6920
<https://shigoto-to-kaigo.com/uhc-wscm>



ホームページ

▶活用事例
創業支援室

創業者や新事業分野進出を目指す企業に事務スペース（創業支援室）を提供するとともに、入居者が抱える様々な課題の解決をサポートします。

【お問い合わせ】
総合相談課
TEL. 018-860-5610



創業から2年間、自身が経験してきた
介護現場でのエピソードを描いた4コマ漫画。



令和7年4月末ころ完成予定のWebサイトの案。
秋田県よろず支援拠点を活用してPRツールの制作を進めている。



創業支援室を拠点とし、定期的に秋田県よろず支援拠点にも相談。
着実に準備を進めている。